

IdP, SP構築状況と SSOへの期待



山口大学・大学情報機構・メディア基盤センター

佐伯 徹郎, 永井 好和, 久長 穰, 王 躍

YAMAGUCHI UNIVERSITY

2008/11/10

実験状況

■ IdPとSPの構築:

◆ 山口大学IdP

<https://idp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/idp/login.jsp>

◆ 山口大学SP (Plone)

<https://sp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学  Shibboleth.

Yamaguchi University
Shibboleth Identity Provider Login
UPKI認証連携基盤実証実験

サイトを利用するには、ユーザ名とパスワードが必要です。

ユーザ名:
 パスワード:

[Yamaguchi University](#)

山口大学

サイトマップ アクセシビリティ 連絡フォーム

サイトを検索

現在のセッション内のみ

test_eppn_1 ログアウト

現在の場所: ホーム

ナビゲーション

- ① ホーム
- ユーザ
- ニュース
- イベント

Yamaguchi University

作成者 admin - 最終更新日時 2008年10月13日 16時23分

UPKI認証連携基盤実証実験

このページを知らせる — このページを印刷する —

« 2008年 10月 »

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

Copyright © Yamaguchi University

2008/11/10

インストールに苦労した点

- 手順書にいくつかの誤りが含まれていた。
IdP手順書 (Ver.1.2) はかなり改善されているが、SP手順書 (Ver.1.2) の方は誤りがまだ多いようだ
- 設定項目が多くて、確認方法はなかった。
設定ミスが起こりやすい
- 設定ファイルの意味についての説明は少なかった。
混乱してしまう

確認できたこと

- 山口大学SP (<https://sp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/secure/phpinfo.php>) でのテスト
- 山口大学SP (Plone) へのログイン (山口大学IdP)
- NII DSとの連携
- NIISP (Plone1, Plone2, CiNii, Moodle) との連携
- 産業技術大学院大学 SP (Multiple Pointers System) などの連携
- シングルサインオンの確認
- 山口大学のIdP, SPのメタデータ自動更新

今後への期待(展望)

- インストールは ports , rpm化
- アクセス制御の例 (Apacheベースなど)
- ユーザ属性の整合性 (属性セマンテクス)
- 連携認証の共通ポリシー
- IdP: クライアント証明書による認証 (大学向け証明書スタートパックの利用)
- 提供できるサービスの展開